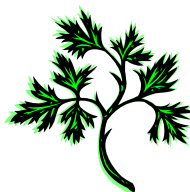




4月の植物の育て方



〈ハーブ編〉



●管理の基本

冬越ししたハーブが新芽を付け始め、生育を開始する頃です。この時期のハーブは、日当たりと風通しのよい場所で栽培するのが基本です。

苗の植え付けは4月中旬ごろまでが適期です。育苗中の苗は、遅霜の被害を避けるために、軒下などに置いて寒さに徐々に慣らしてから植え付けましょう。

鉢植えのものは、土の表面が乾いたら水やりをします。植え付け直後以外の庭植えの株には、基本的に水やりは不要です。

また、冬越しさせたものをはじめ、株元に緩効性肥料や、完熟牛ふん堆肥などを施して株の充実を図りましょう。

なお、春先は新芽の生育とともにアブラムシなどが集中して発生します。特に、カモミール、スイートバイオレット、タラゴン、バジル、ミント類、ルバーブ、レモンバーム、ワイルドストロベリーなどは、株をよく観察し、早めに駆除しましょう。

〈観葉植物編〉

●管理の基本

暖かい日中は戸外で日光に当て、冷え込む夜間は室内に取り込みます。直射日光に急に当てると葉焼けを起こすので、まずは暖かい曇りの日を選んで戸外に出すか、明るい日陰に置き、徐々に戸外の日差しに慣らしましょう。

ヤエザクラが散る頃からは、終日戸外の日なたで管理します。表土が乾いたら、たっぷりと水を与え、液体肥料を施してください。アブラムシが発生するので、見つけ次第防除しましょう。



おいしいハーブを
育ててね。